

特別支援学級 6組 道徳科 指導案

1 主題名 誰一人置き去りにしない【C - 1 1 公正、公平、社会正義】

2 教材名 S D G s

3 ねらいとする道徳的価値について

私たちは他者との関わりの中で生きている。目の前にいる家族や友だち、先生だけでなく、世界中の人たちが互いに支え合っていることに気づき、「自分が良ければ良い」という、自己中心的な考えから脱却したい。また、弱者やマイノリティー的な立場の人にも、分け隔てなく公平に接しようとするのが大切である。より良い社会を実現するために、正義と公正さを重んじる精神を大切にし、社会の中での自分の立場から何ができるか考え、社会をより良くしていこうとする気持ちを育てたい。

4 ねらい

より良い社会を実現するために自分には何ができるか考え行動する道徳的実践力を育てる。

5 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 (5分)	○SDGs について知る、確認する。 1. 17 種のアイコンを見せる。		
展開 (40分)	2. SDGs とは何なのか確認する。 3. それぞれのアイコンが何を表しているか確認する。 4. なぜ、このような目標を立てているか考える。	SDGs って何だろう？ ・前に習ったけど忘れた。 ・世界の問題のこと。 ・世界のみんなで達成する目標のこと。 ・見たことがあるアイコンもある。 なぜこのような目標を立てるのか？何もしないのは、だめなのか？ ・貧乏な国が貧乏なままになる。 ・問題が解決されない。	●この段階では「世界みんな達成しようとしている目標」までに留める。 ●それぞれのアイコンの示す内容と日本の達成状況の資料を掲示する。
	○公正・公平について考える。 1. 今の思いを天秤で表す。 （「自分」と「みんな」のどちらが大切か。） 2. 教員の経験談を話す。 3. 身の回りの SDGs の取り組みを参考に、自分たちができる活動を考える	自分が幸せだったら、それで良いんじゃない？ ・ダメ ・そういう時もある ・自分も周りも同じくらい大事 ・全部まわりに気を遣うのは無理 自分たちでもできる SDGs の活動にはどんなものがあるだろう？ ・給食を残さない ・必要のない電気は消す ・ゴミは分別、リサイクル ・ごみ拾い ・男女仲良くする ・募金、寄付 ・花を植える ・無駄な買い物をしない ・友だち同士仲良く ・学校を大切に	●自分たちに困り感がないことから、SDGs の必要性について悩ませる。 ●SDGs は「誰一人置き去りにしない」をテーマにしていることを確認する。 ●インドネシア生活での写真を見せてイメージしやすいようにする。 ●板橋区の取り組みの写真を参考にする。
まとめ (5分)	○授業を振り返り、感じたこと、考えたことを記入する。		●社会をより良くしていることとする気持ちをもたせたい。

6 評価

より良い社会の実現のために、自分ができることについて、積極的な発言や記述が見られたか。